



暮らしを守る私たちの足 地域に根付いた 公共交通を目指して

市民の移動手段の確保

高山市は広大な面積を有し、標高差も大きいいため、自家用車や公共交通による移動に頼らざるを得ません。

また、冬期は積雪により徒歩や自転車での移動が困難であることが多く、移動制約者（自力で移動できる方のうち、自分自身が自由に使える交通手段を持たない方）にとっては公共交通が必要不可欠な地域といえます。このため、市民が通勤や通学、通院、買物ができるなど、最低限の「生活環境の質」を確保するため、交通事業者等との連携により地域公共交通を整備しています。

また、公共交通を将来に渡って持続可能とするため、観光客も含めた利用促進を図るほか、利便性向上等に向けた見直し、関係機関との協働によるイベント等により啓発に取り組んでいます。

バスの利用状況

平成27年度ののらマイカー、まちなみバスの利用者数は、約16万5千人で、前年度比較では約千人の増加となりました。増加した理由は、主に平成26年度に発生した豪雨・豪雪災害による運休の影響によるもので、災害がなかった平成25年度と比べると約7千人の減少となっています。

また、平成27年度の1便あたりの平均利用者数は約4.2人で、うち高山地域は6.9人、全支所地域の平均は1.8人となっております。若干の改善がみられます。公共交通は市民の皆様の利用によって維持されます。ぜひ、積極的な利用をお願いします。

公共交通の役割とは

バス、鉄道、タクシーなどの公共交通は、私たちの「生活の足」として大きな役割を果たしています。みんなで利用し、守り育てましょう。



公共交通には、次のような役割や効果があります。

- 高齢者や学生など自動車の運転ができない人にとって重要な移動手段です。
- マイカーの代わりに利用することで走行車両が減り二酸化炭素排出量も減少します。
- 観光客の観光エリアや散策ルートが広がります。
- マイカーの購入や維持管理費と比較すると経済的にもお得です。
- 自身の体調が悪い時なども安全に移動できます。
- 老若男女が笑顔でふれあうことができる空間です。
- 子どもたちは公共交通の利用方法や社会のマナーを学ぶことができます。

公共交通の体系

市内を運行する公共交通は、種類ごとに役割を設定するとともに、その役割や必要性に応じて公共交通同士を接続させることにより体系化を行っています。また、負担軽減により誰もが利用しやすい公共交通を目指すため、のらマイカー・まちなみバスの運賃は1乗車100円としています。

その他、一部の便をデマンド化（予約運行）したり、一之宮・朝日地域ではデマンドタクシーを導入するなど利便性を確保しつつ、効率化を図っています。

バスの種類	幹線バス	地域バス(のらマイカー)	中心市街地バス(まちなみバス)
概要	高山地域と支所地域を結び、通勤や通院などの移動手段を確保	地域内の移動手段を確保し、主要なバス停で幹線と接続	中心市街地の公共施設や、病院、商店街などを短時間で巡回
路線名	国府・上宝線、荘川線、高山下呂線など	高山地域東・西・南・北線、支所地域路線（一之宮・朝日地域はデマンドタクシー） 	まちなみバス（右回り・左回り）
運賃	距離制運賃（市民乗車パス制度あり※）	定額運賃:1乗車 100円（小学生未満は無料）	
事業者	濃飛バス	高山市 運行委託先：濃飛バス、タクシー協会	高山市 運行委託先：濃飛バス

2016.7.15